

平成21年度悠久会全国総会「さわやか信州諏訪湖総会」を終えて

悠久会長野支部長 小笠原俊彦(電気55年)

平成21年6月6日、信州上諏訪温泉ホテル紅やにおいて今年度の悠久会全国総会「さわやか信州諏訪湖総会」が開催されました。総会出席者139名、懇親会145名、翌日の観光には52名の方々が参加されました。空も青く晴れ渡り緑鮮やかなすがすがしい信州らしい天候となりました。たくさんの方々にご参加を頂き心よりお礼申し上げます。

当日は支部長会の後、牛越健一様(精密41)により「クロック悠久」の開発を通し伝えたいものづくりへの想い」と題して講演を頂きました。奇しくも同窓会の名称と同じ「悠久」とネーミングされた高級からくり時計の開発を通して貫かれているものづくりへのこだわり、今後の若い技術者に伝えたい想いや、「小さな成功や失敗の積み重ねがあって初めて技術者は育っていく、そのような場づくりが大切」といった牛越様の考え方が熱く語られました。

ステージ上には動作する「クロック悠久」も展示され参加された方々も実物の前で、その優雅な動きに見入っておられました。質疑応答も活発に行われ大変印象に残る講演会となりました。



続いて、全国理事会・全国総会では平成20年度の事業報告・決算報告及び平成21年度の計画と予算が承認され、今後の全国総会開催地、名誉会員の推薦について提案・承認がされました。その後支部長会報告、母校近況等報告の後、悠久会活動への若手等参加促進課題等について突っ込んだ議論・提案がされ、大変活発な総会となりました。



懇親会は支部長挨拶、内田理事長の乾杯で大宴会のスタートとなりました。その後、長野支部名取実行委員長による威勢のよい「木やり」の掛け声に始まり、天下の奇祭信州諏訪の御柱祭の特徴ある映像シーンを名取実行委員長の説明とともにご覧頂きました。ちょうど来年は七年に一度の御柱祭開催の年でもあり、その勇壮なシーンに会場の注目が集まりました。懇親会の中ではクラス会のテーブルもあり、昔話しに花を咲かせたり、近況の情報交換等がなされ大変楽しい賑やかな懇親会となりました。



懇親会終盤には、恒例の「新潟大学学生歌」「四季の新潟」を有志がステージに上がり会場をリードしながら全員で合唱。最後は来年の全国総会開催場所の埼玉支部の皆様による力強いご挨拶と締めでお開きとなりました。

更に会場を改めて行われた二次会にも多くの方々が参加され盛況な一日となりました。

翌日の観光は6月のさわやかな風の吹く気持ち良い天気となり、諏訪湖周辺観光として「諏訪大社 下社」、「諏訪湖時の科学館 儀象堂」、「諏訪湖オルゴール博物館 奏鳴館」、「諏訪大社 上社」を巡り、精密工業発祥の地である諏訪のものづくりの歴史や天下の奇祭御柱祭と緑深まる木々に包まれた神聖な諏訪大社の歴史に想いを馳せていただき、短い時間ではありましたが、ご参加いただいた皆様方には、信州のさわやかな初夏を楽しんでいただくことができました。

また平林伸一先輩(電気35)よりご本人が整理・作成された「信濃に見る古社」「古事記に見る古代神々の系図」なる立派な資料をご提供いただき本観光に参加された皆様に配布をさせていただきました。諏訪大社をはじめとする信州の神社の古からのいわれを知る大変良い機会となりました。平林様のご好意に感謝を申し上げます。

おかげさまで当信州諏訪において無事全国総会終えることができ、悠久会本部の皆様を始め、ご参加くださいました皆様に改めて深くお礼申し上げます。ありがとうございました。